

23

写真管理

写真管理

写真管理で登録した写真は調査報告書に画像として追加することができます。

01

写真の登録

1. [写真] を選択します。
[写真管理] 画面が表示されます。



写真管理の画面を確認してみましょう。



ファイル取込み	写真が保存されているフォルダーを選択して、取り込みます。 エクスプローラーからファイルをドラッグ & ドロップで取り込むこともできます。
写真の調整	[写真の調整] ダイアログで選択されている写真を調整します。
写真の編集	[写真編集] で選択されている写真を編集します。
写真の印刷	[写真の印刷] ダイアログで選択されている写真を印刷します。
写真の削除	選択されている写真を削除します。 削除した写真はごみ箱へ移動します。
ごみ箱	[ごみ箱] ダイアログで写真のごみ箱を整理します。
環境設定	[環境設定] ダイアログの [写真管理の共通設定] で画像ファイル取り込み時に開くフォルダーを設定します。

<p>分類ツリー</p>	<p>受託タイプ（「土地」「建物」「区分」）の下層に物件が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物件ごとに写真を登録することができます。 ・ドラッグ & ドロップで、エクスプローラーから写真ファイルを登録することもできます。 ・分類に登録されている写真を空にし、物件管理で該当物件を削除すると、写真管理起動時に、その分類を消すことができます。
<p>写真一覧</p>	<p>写真一覧を表示します。</p> <p>[撮影] : 撮影日を入力するときにオンにして、撮影日を設定します。</p> <p>[作成] : 作成日を入力するときにオンにして、作成日を設定します。</p> <p>[摘要 1] : 摘要 1 を入力します。</p> <p>[摘要 2] : 摘要 2 を入力します。</p> <p>[備考] : 備考を入力します。</p> <p>[写真] を右クリックして表示されるポップアップメニューで写真を編集できます。</p> <p>[一括訂正] :</p> <p>[削除] : 選択されている写真を削除します。削除された写真はごみ箱へ移動します。</p> <p>[複写] : 選択されている写真を複写します。</p> <p>[左に 90°回転] : 選択されている写真を左に 90°回転します。</p> <p>[右に 90°回転] : 選択されている写真を右に 90°回転します。</p> <p>[左右を反転] : 選択されている写真の左右を反転します。</p> <p>[上下を反転] : 選択されている写真の上下を反転します。</p> <p>[情報] : 選択されている写真の情報を表示します。</p>
<p>サムネイル表示</p>	<p>写真のサムネイル一覧を表示します。</p>
<p>大きい写真を表示</p>	<p>左側にサムネイル一覧、右側に一覧で選択されているサムネイルの大きい写真を表示します。</p> 

写真の調整の写真の調整用コマンドの画面を確認してみましょう。

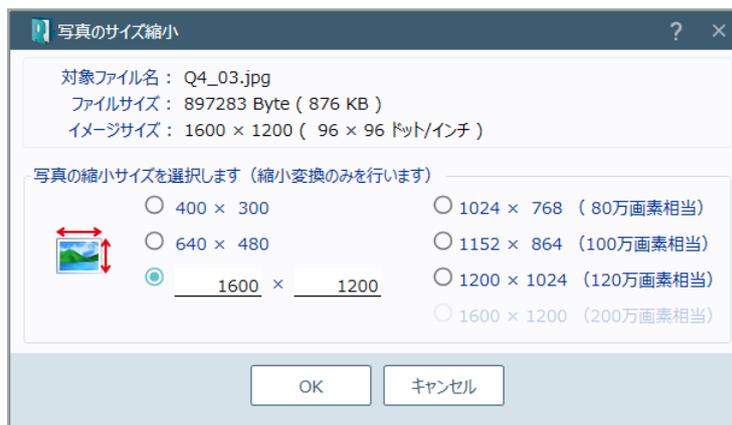


保存終了	写真を保存して終了します。
左右を反転	左右を反転します。
上下を反転	上下を反転します。
左に 90 度回転	左に 90 度回転します。
右に 90 度回転	右に 90 度回転します。
グレースケール	グレースケールに変換します。 グレースケールでは、画像を 8 ビットのグレースケールに変換します。

サイズ縮小

写真のサイズを縮小します。

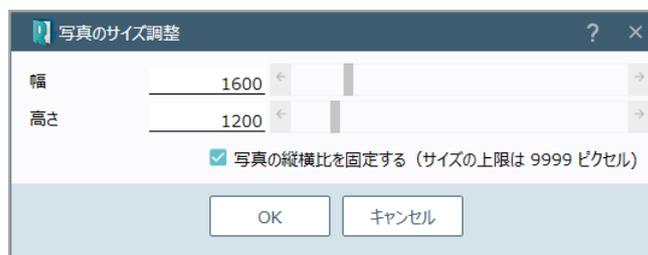
[写真のサイズ縮小] で写真の縮小サイズを選択します。



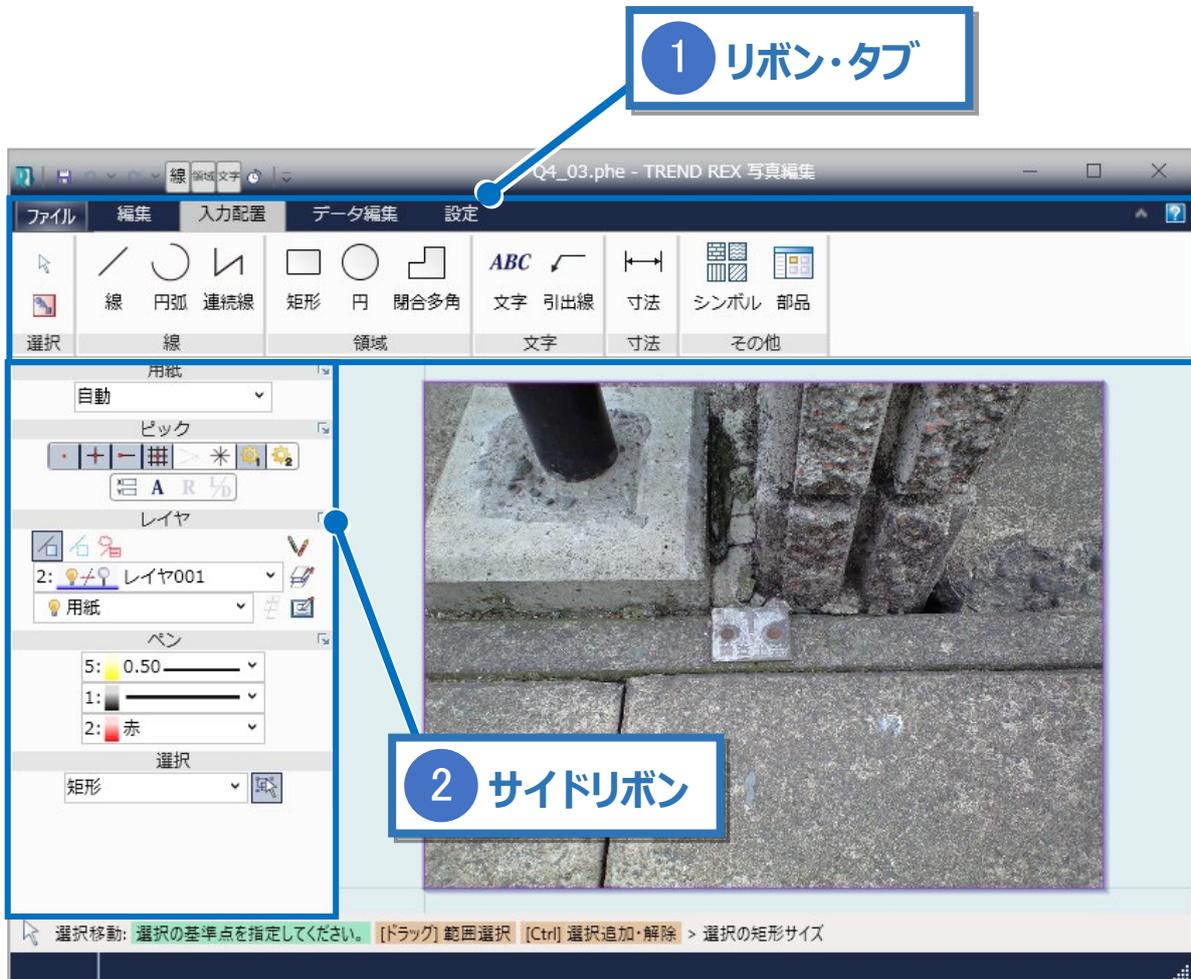
サイズ調整

写真のサイズを調整します。

[写真のサイズ調整] で写真の幅、高さを設定します。



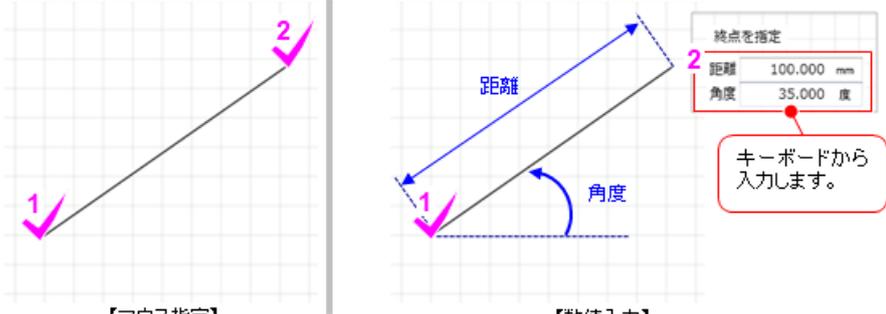
写真編集の画面を確認してみましょう。



1 リボン・タブ

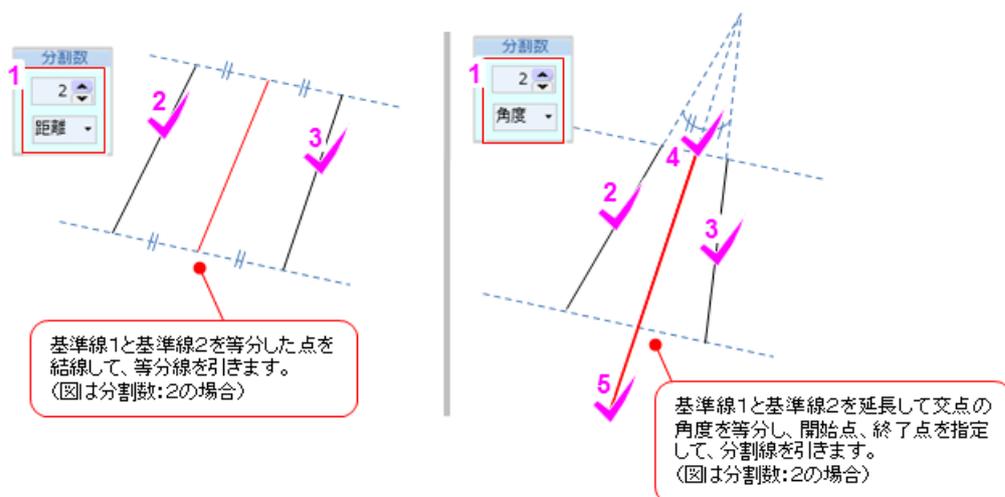
リボンはタブとグループで構成されています。

作業内容に応じて必要なコマンドがグループ化されてリボンにまとめられ、リボンがタブでまとめられています。

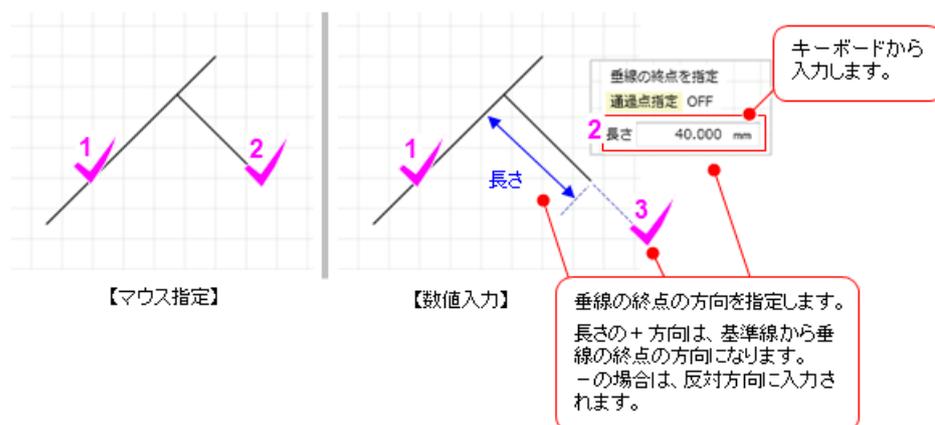
【ファイル】 タブ	
上書き保存	データを上書き保存します。
印刷	印刷、印刷プレビューします。
オプション	塗り潰し・シンボル・部品のコレクション、ユーザーインターフェース・マウスホイールの操作などを設定します。また、バージョン情報を確認できます。
終了	写真編集を終了します。
【編集】 タブ	
元に戻す	編集作業を元に戻します。
やり直し	【元に戻す】 で元に戻した編集作業をやり直します。
選択移動	編集するデータを選択します。
全選択	全てのデータを選択します。 全てのデータが選択されているときは選択解除します。
削除	削除します。
貼り付け	クリップボードの内容を貼り付けます。
切り取り	選択されているデータを切り取ってクリップボードにコピーします。
コピー	選択されているデータをクリップボードにコピーします
再描画	再描画します
範囲拡大	矩形の対角を指定して、表示範囲を設定します
中心拡大	矩形の中心を指定して、表示範囲を設定します
【入力配置】 タブ	
選択移動	編集するデータを選択します。
全選択	全てのデータを選択します。 全てのデータが選択されているときは選択解除します。
線	<p>【単線】：単線を挿入します。</p>  <p>【マウス指定】</p> <p>【数値入力】</p>

線

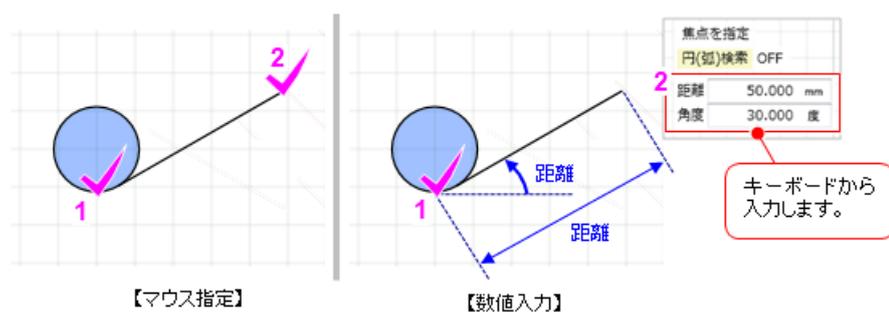
[分割線] : 基準となる線を指定して、2線分間を等分割した線分を挿入します。基準線は線が対象です単線を挿入します。



[垂線] : 基準線 (線分、円、円弧) から垂線を挿入します。



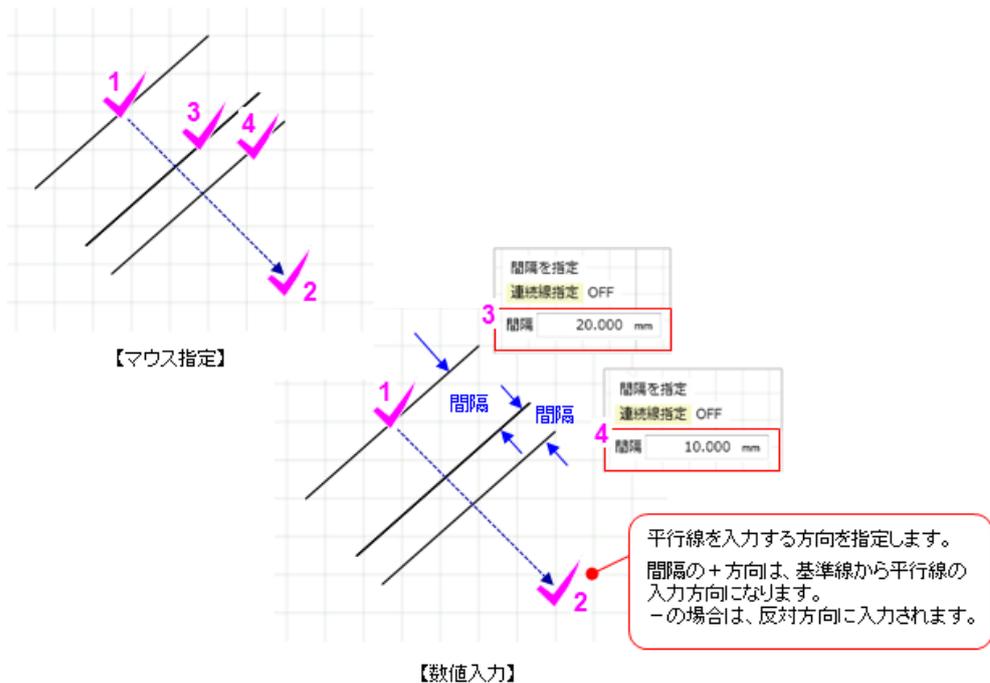
[接線] : 接線を挿入します。



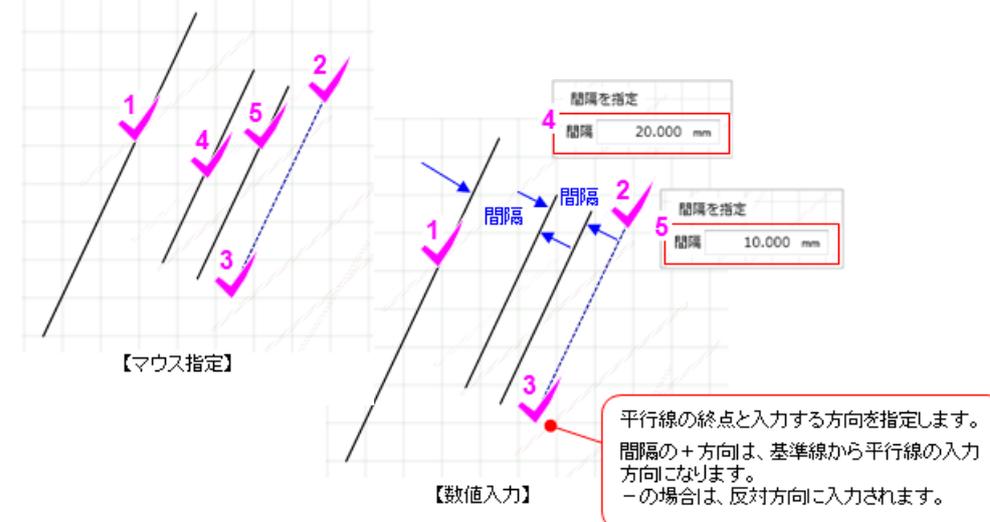
[平行線] : 平行線を挿入します。

線

[平行線] : 平行線を挿入します。



[始終点指定平行線] : 始点・終点を指定して、平行線を挿入します。

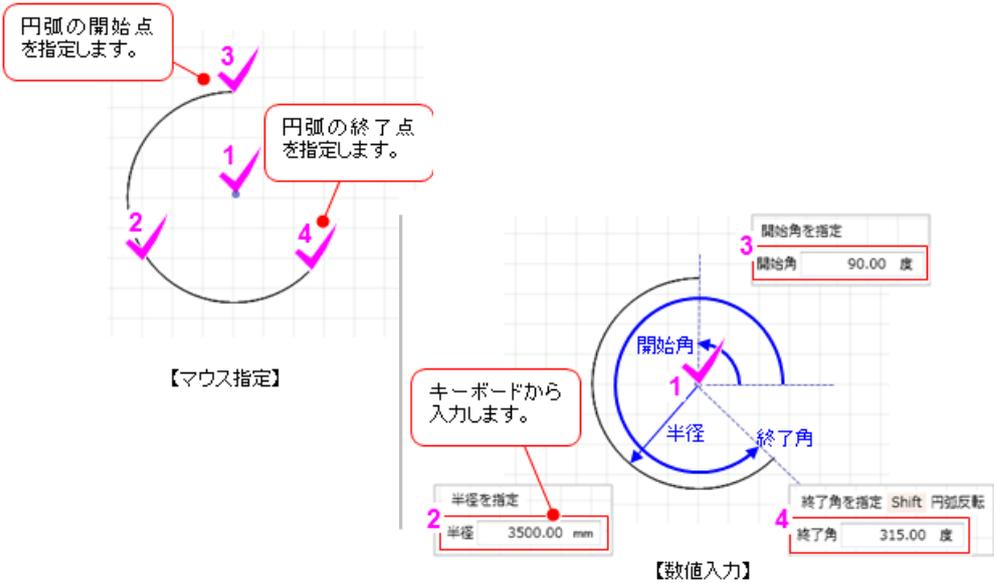


[平行線一括] : 平行線を一括して挿入します。

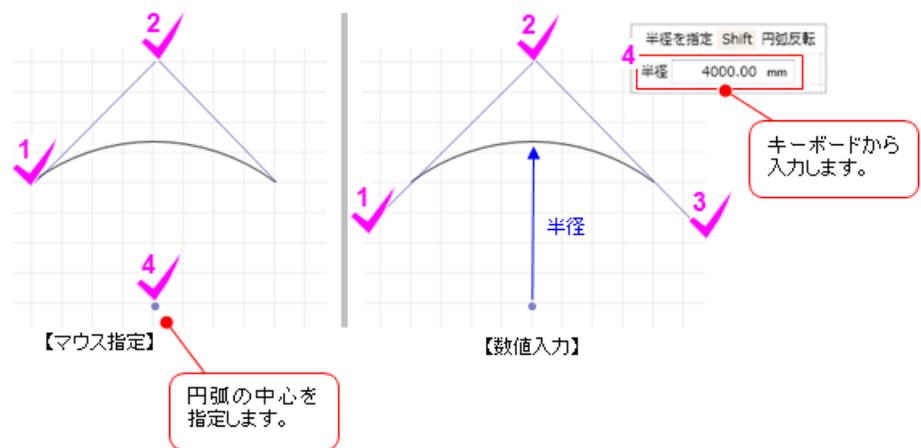


円弧

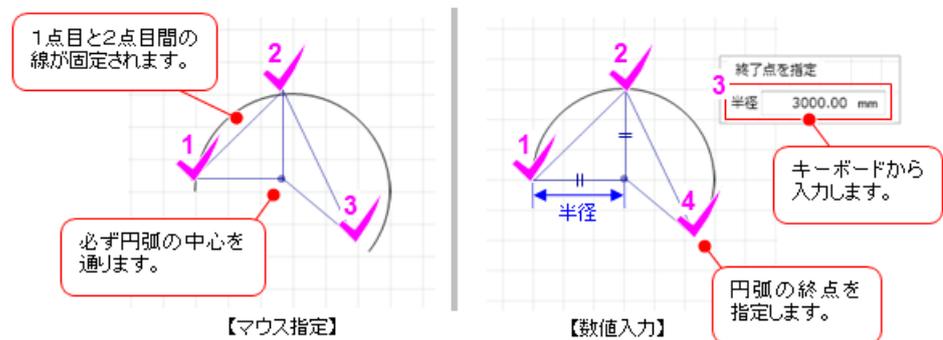
[中心半径角度] : 半径、開始角、終了角を指定して円弧を挿入します。



[3点内角] : 3点に内接する円弧を挿入します。

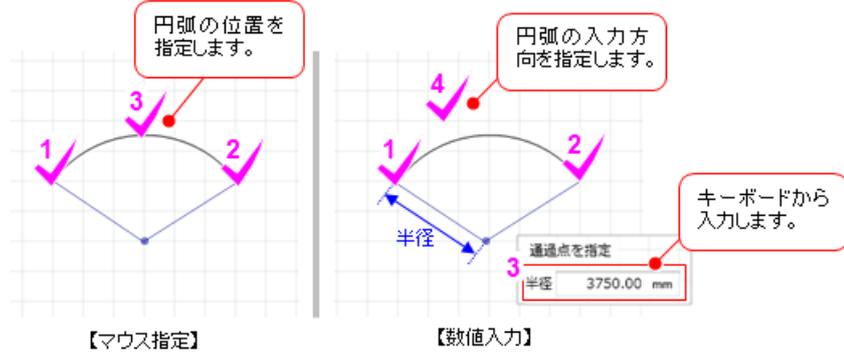


[3点外接] : 3点に外接する円弧を挿入します。

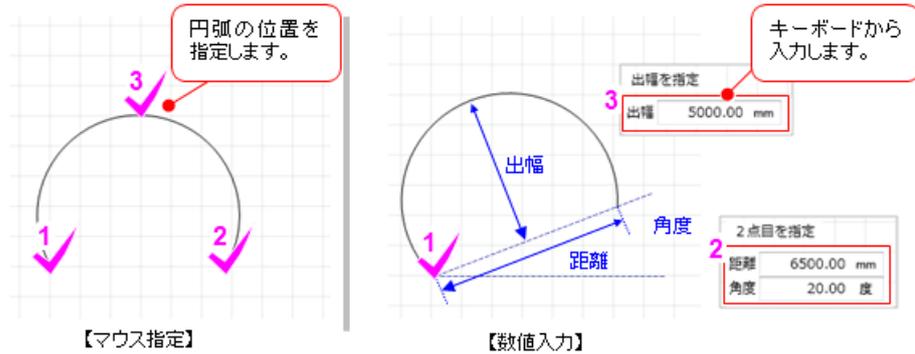


円弧

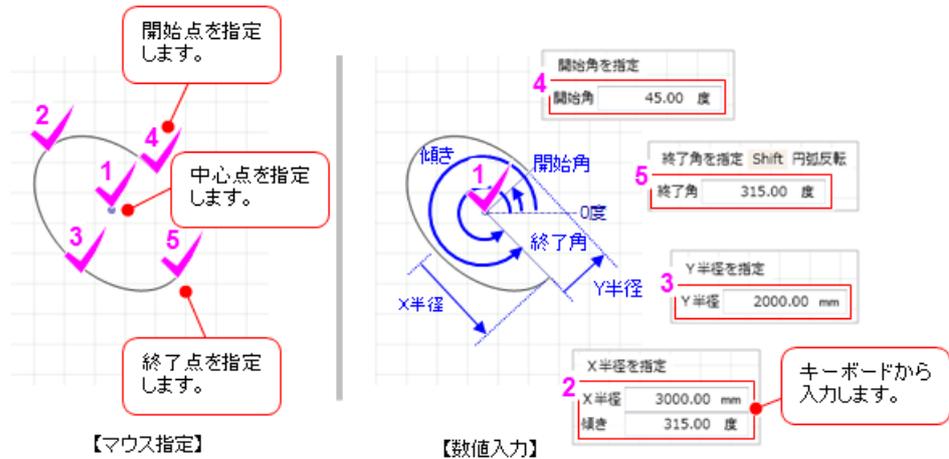
【2点半径】：2点と半径を指定して、円弧を挿入します。



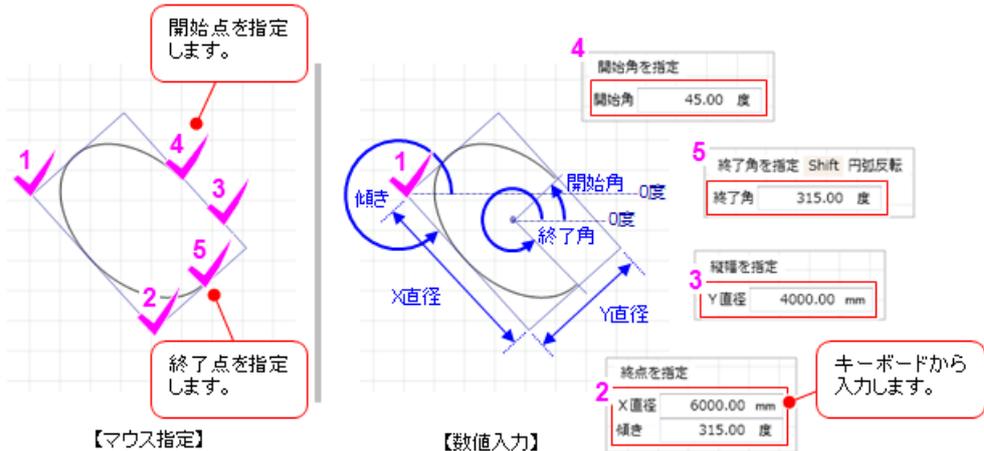
【出幅指定円弧】：出幅を指定して円弧を挿入します。



【中心半径】：X軸半径・傾き・Y軸半径指定で楕円弧を挿入します。

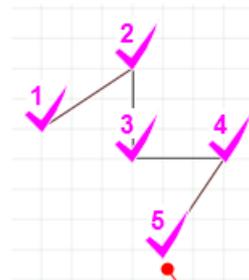


【矩形】：矩形に内接する楕円弧を挿入します。



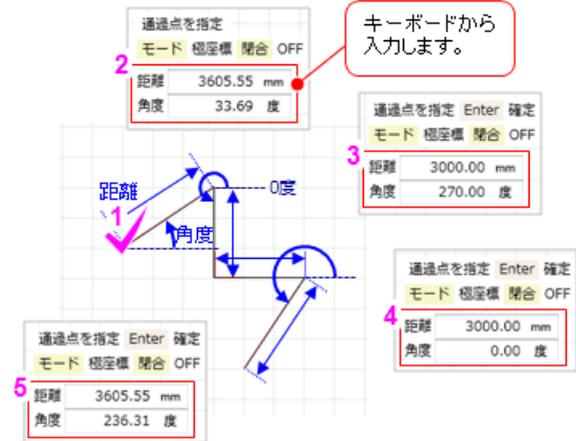
連続線

【連続線】：連続線を挿入します。



最後にEnterキーを押します。

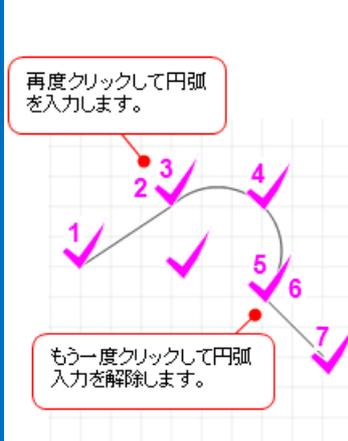
【マウス指定】



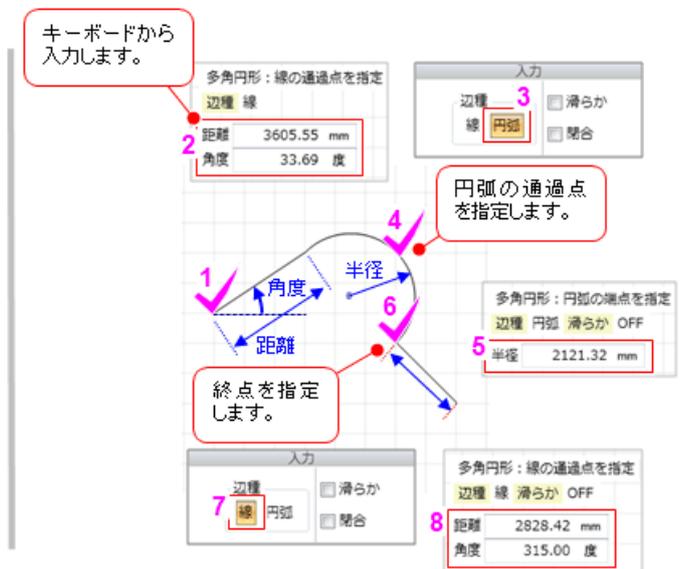
キーボードから入力します。

【数値入力】

【円弧付き連続線】：円弧を含む連続線を挿入します。

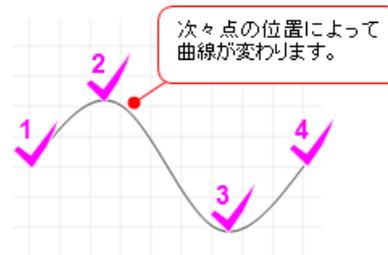


【マウス指定】



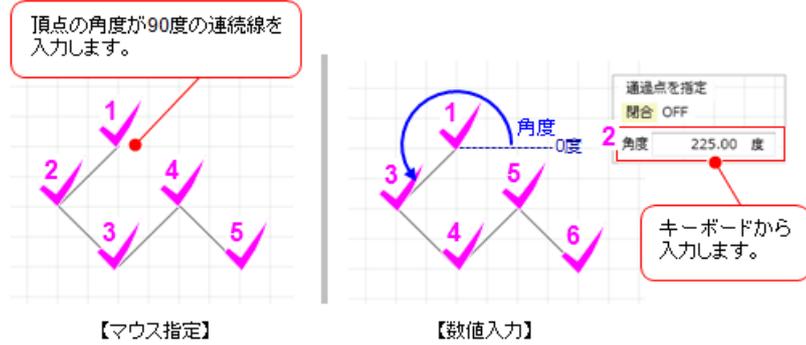
【数値入力】

【自由曲線】：自由曲線を挿入します。

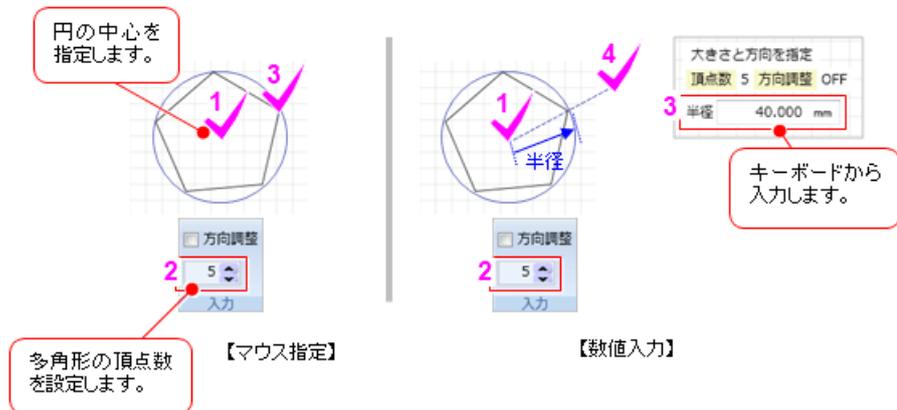


連続線

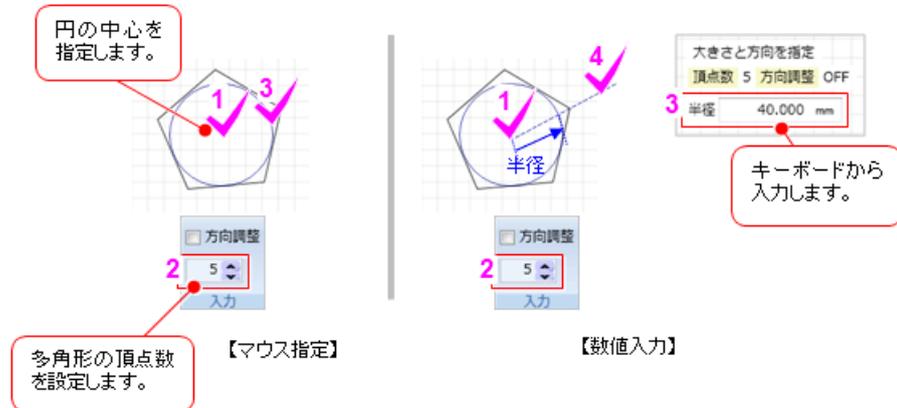
【折線】：頂点の角度が90度の連続線を挿入します。



【円内接】：円に内接する正多角形の連続線を挿入します。



【円外接】：円に内接する正多角形の連続線を挿入します。



連続線

[1辺長] : 1辺の長さから作成された正多角形の連続線を挿入します。

多角形を入力する方向を指定します。

1辺長を指定します。

多角形の頂点数を設定します。

【マウス指定】

【数値入力】

終了点を指定
頂点数 5
距離 50.000 mm
角度 30.000 度

キーボードから入力します。

入力 1 5

入力 1 5

角度 0度

距離

[連続平行線] : 連続平行線を挿入します。

300.00mm

-300.00mm

3

4

5

2

1

【マウス指定】

入力する線のチェックをオンにして、間隔を入力します。

通過点を指定
モード 極座標 閉合 OFF
距離 4242.64 mm
角度 45.00 度

通過点を指定 Enter 確定
モード 極座標 閉合 OFF
距離 2828.43 mm
角度 315.00 度

キーボードから入力します。

距離

角度 0度

【数値入力】

通過点を指定 Enter 確定
モード 極座標 閉合 OFF
距離 2828.43 mm
角度 45.00 度

1

5

入力 -300.000 mm

入力 300.000 mm

入力 -50.000 mm

入力 -300.000 mm

入力 300.000 mm

入力 -50.000 mm

連続線

[円弧付き平行線] : 円弧を含む複線を挿入します。

再度クリックして円弧を入力します。

もう一度クリックして円弧入力を解除します。

入力する線のチェックをオンにして、間隔を入力します。

多角円形：線の通過点を指定
 辺種 線
 距離 4242.64 mm
 角度 45.00 度

キーボードから入力します。

円の通過点を指定します。

多角円形：円弧の端点を指定
 辺種 円弧 滑らか OFF
 半径 1414.21 mm

多角円形：線の通過点を指定
 辺種 線 滑らか OFF
 距離 2828.43 mm
 角度 315.00 度

【マウス指定】

【数値入力】

矩形

[水平矩形] : 水平矩形を挿入します。

【マウス指定】

【数値入力】

サイズを指定
 縦幅 6000.00 mm
 横幅 3000.00 mm

サイズを指定
 縦幅 6000.00 mm
 横幅 3000.00 mm

キーボードから入力します。

[3点矩形] : 角度つき矩形を挿入します。

【マウス指定】

【数値入力】

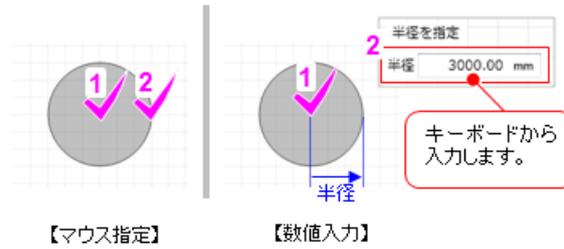
終点を指定
 縦幅 4000.00 mm
 傾き 45.00 度

縦幅を指定
 縦幅 6000.00 mm

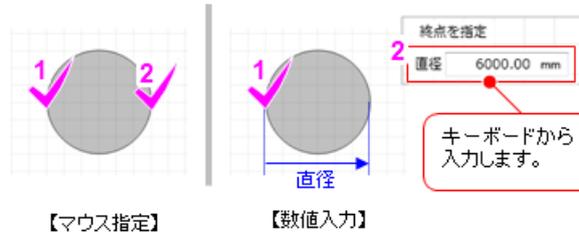
キーボードから入力します。

円

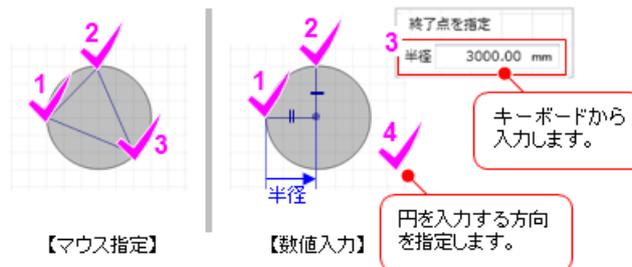
[中心半径] : 中心・半径指定で円を挿入します。



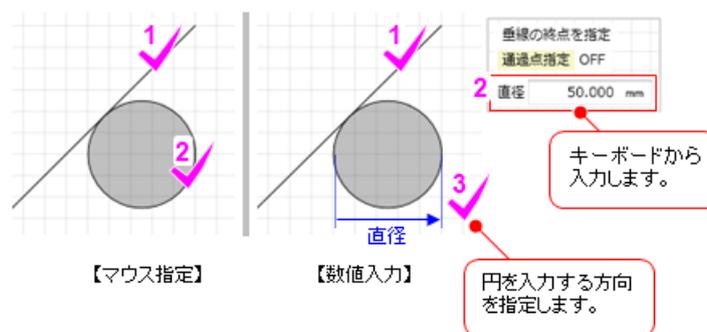
[直径] : 直径指定で円を挿入します。



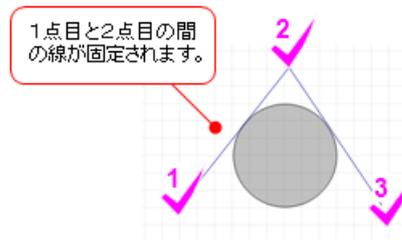
[外接円] : 3点に外接する円を挿入します。



[接円] : 接円を挿入します。

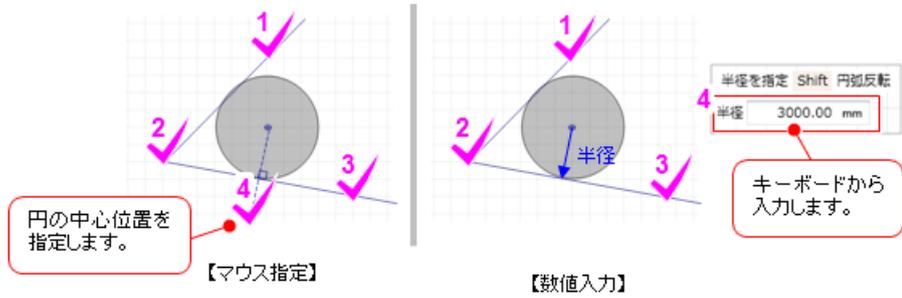


[内接円] : 3点に内接する円を挿入します。



円

[内角接円] : 3点の内角に接する円を挿入します。



円の中心位置を指定します。

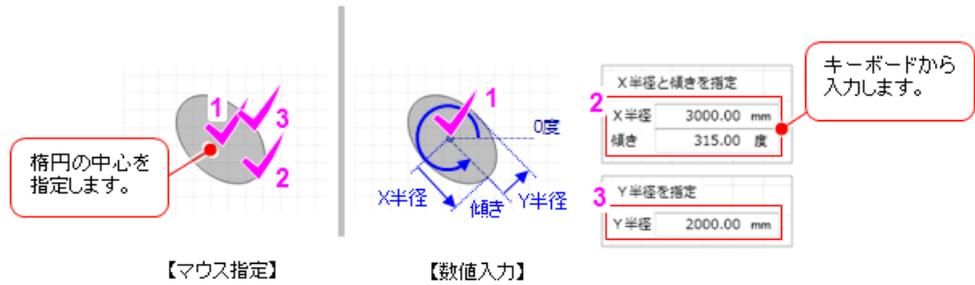
【マウス指定】

【数値入力】

半径を指定 Shift 円弧反転
半径 3000.00 mm

キーボードから入力します。

[中心半径] : X軸半径・傾き・Y軸半径指定で楕円を挿入します。



楕円の中心を指定します。

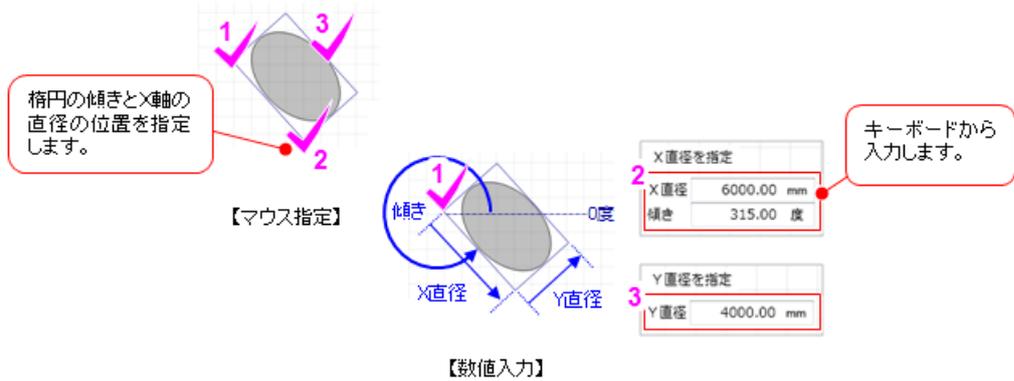
【マウス指定】

【数値入力】

X半径と傾きを指定
X半径 3000.00 mm
傾き 315.00 度
Y半径を指定
Y半径 2000.00 mm

キーボードから入力します。

[矩形] : 角度つき矩形に内接する楕円を挿入します。



楕円の傾きとX軸の直径の位置を指定します。

【マウス指定】

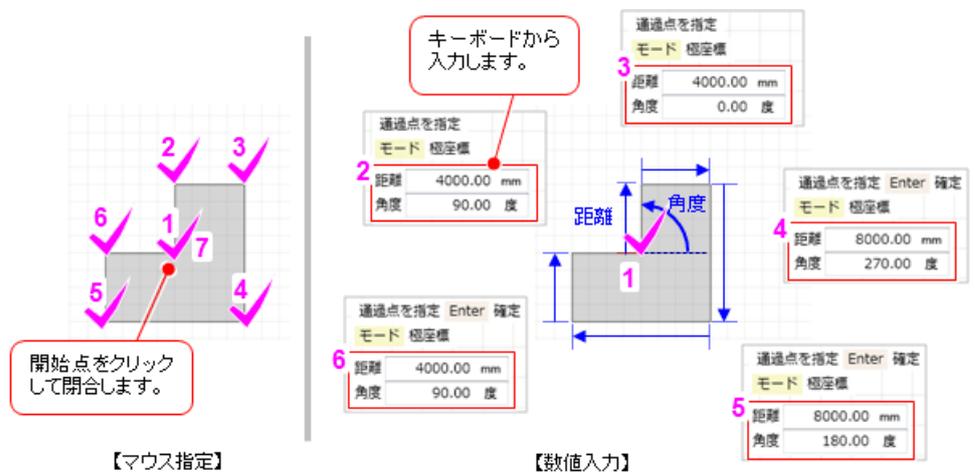
【数値入力】

X直径を指定
X直径 6000.00 mm
傾き 315.00 度
Y直径を指定
Y直径 4000.00 mm

キーボードから入力します。

閉合多角

[多角閉合] : 閉合多角形を挿入します。



開始点をクリックして閉合します。

【マウス指定】

【数値入力】

通過点を指定	モード	極座標
距離 4000.00 mm		
角度 90.00 度		

キーボードから入力します。

通過点を指定	モード	極座標
距離 4000.00 mm		
角度 90.00 度		

通過点を指定	モード	極座標
距離 8000.00 mm		
角度 270.00 度		

通過点を指定 Enter 確定	モード	極座標
距離 4000.00 mm		
角度 90.00 度		

通過点を指定 Enter 確定	モード	極座標
距離 8000.00 mm		
角度 180.00 度		

閉合多角

【円弧付き多角閉合】：円弧と線分で囲まれた領域を挿入します。

再度クリックして、円弧を入力します。

もう一度クリックして、円弧入力を解除します。

【マウス指定】

キーボードから入力します。

【数値入力】

「円弧」時は半径を入力します。

多角円形：円弧の端点を指定
辺種 円弧 滑らか OFF
半径 2000.00 mm

多角円形：線の通過点を指定
辺種 線
距離 2000.00 mm
角度 90.00 度

多角円形：線の通過点を指定
辺種 線 滑らか OFF
距離 6000.00 mm
角度 270.00 度

多角円形：線の通過点を指定
辺種 線 滑らか 無効
距離 4000.00 mm
角度 90.00 度

多角円形：線の通過点を指定
辺種 線 滑らか 無効
距離 8000.00 mm
角度 180.00 度

【自由曲線閉合】：自由曲線で囲まれた領域を挿入します。

Enterキーで確定します。

【中心・半径（内接）】：円に内接する正多角形領域を挿入します。

円の中心を指定します。

多角形の頂点数を設定します。

【マウス指定】

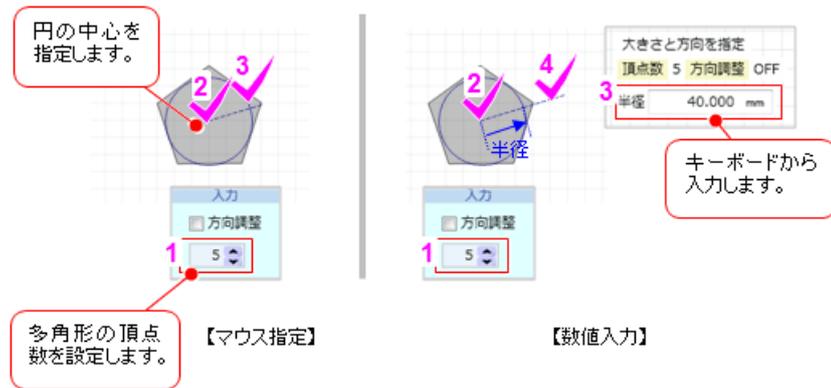
【数値入力】

キーボードから入力します。

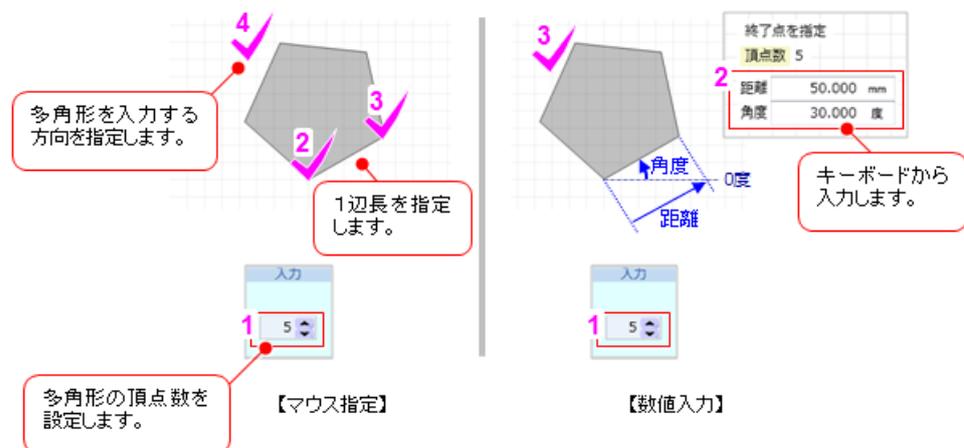
大きさと方向を指定
頂点数 5 方向調整 OFF
半径 40.000 mm

閉合多角

[中心・半径（外接）]：円に外接する正多角形領域を挿入します。

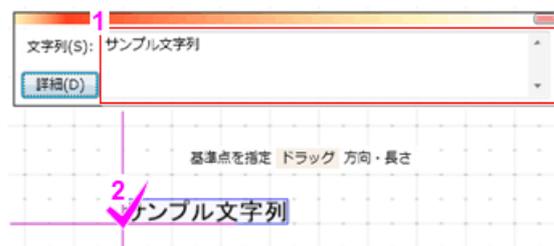


[辺長・角度]：1辺長を指定して、正多角形領域を挿入します。

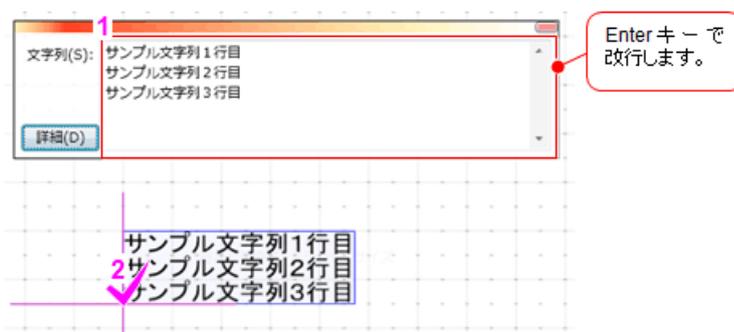


文字

[文字列]：文字列を挿入します。



[複数行]：複数行文字列を挿入します。

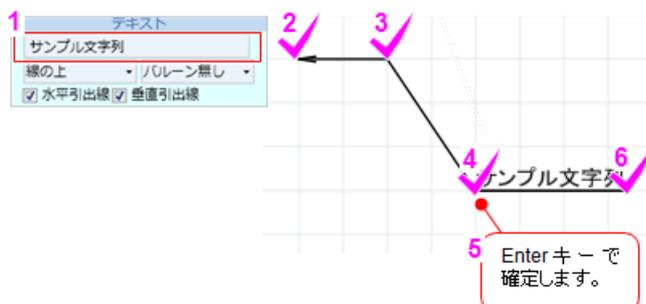


引出線

[引出線] : 引出線を挿入します。

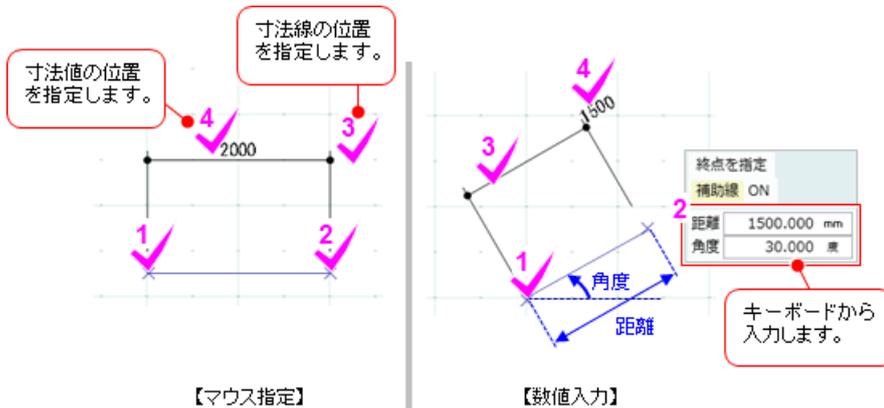


[連続引出線] : 連続引出線を挿入します。

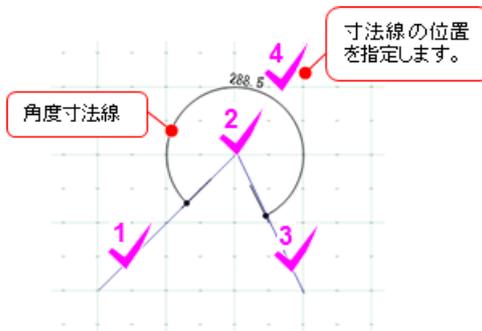


寸法

[2点間寸法線] : 2点間の寸法線を挿入します。



[角度寸法線] : 角度寸法線を挿入します。



シンボル	<p>[シンボル作成] : 選択されたデータをシンボルとして登録します。</p> <p>[シンボル配置] : シンボルを配置します。</p> <p>[シンボル管理] : シンボルを管理します。</p>
部品	<p>[部品作成] : 選択されたデータを部品として登録します。</p> <p>[部品配置] : 部品を配置します。</p> <p>[部品管理] : 部品を管理します。</p>

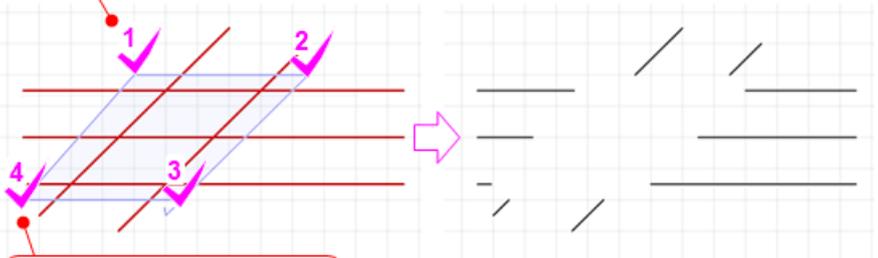
【データ編集】タブ

削除

[削除] : 削除します。

[範囲指定カット] : 指定した多角形領域内のデータを削除します。

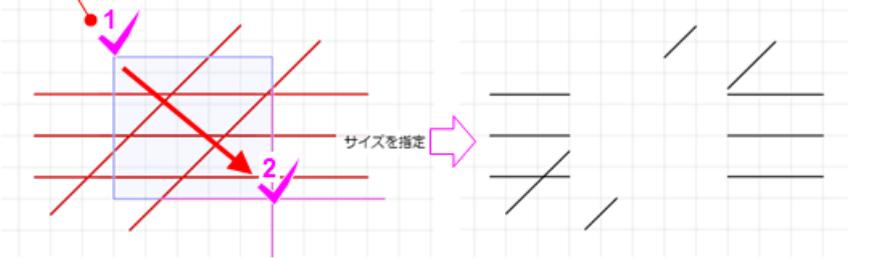
クリップ削除の対象とするデータを選択してから、クリップ削除する多角形を指定します。

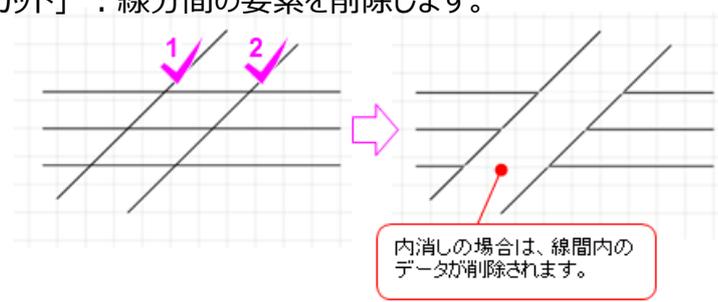
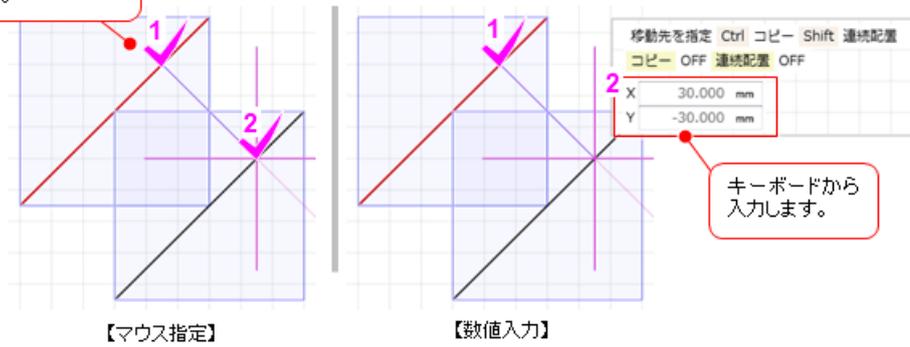
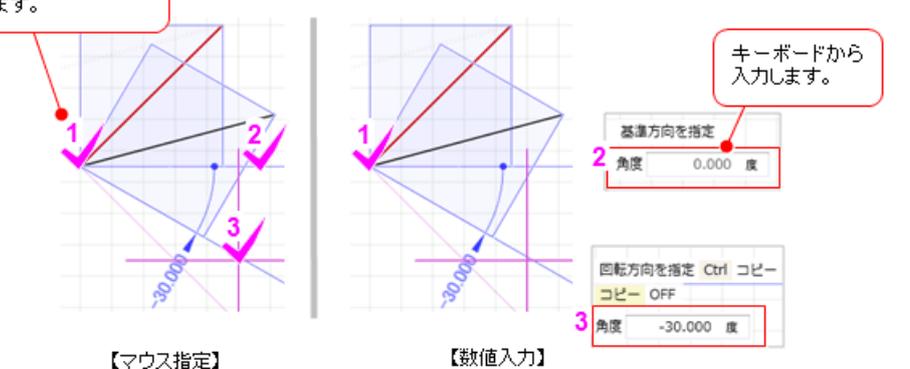
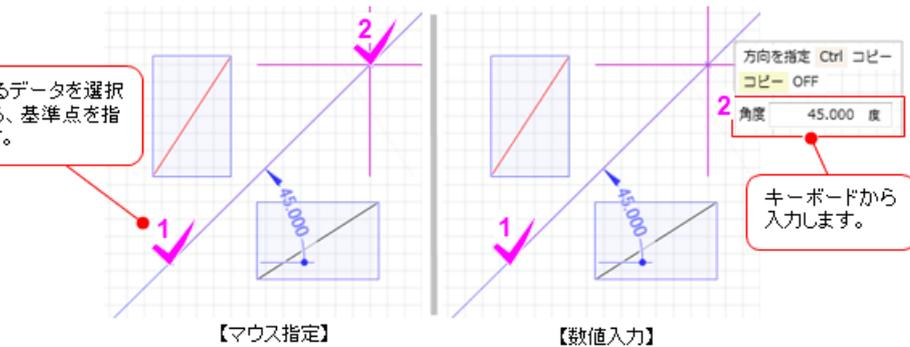


多角形の通過点の指定を終了したら Enterキーを押して確定します。

[矩形カット] : 指定した矩形領域内のデータを削除します。

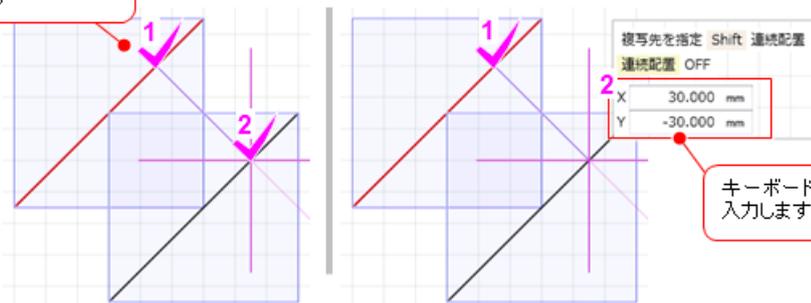
クリップ削除の対象とするデータを選択してから、クリップ削除する矩形を指定します。



<p>削除</p>	<p>[線分間カット] : 線分間の要素を削除します。</p>  <p>[重複削除] : 重複された線を削除します。</p> <p>[極小データ削除] : 極小データを削除します。</p>
<p>基本編集</p>	<p>[移動] : 移動します。</p> <p>移動するデータを選択してから、移動元を指定します。</p>  <p>移動先を指定 Ctrl コピー Shift 連続配置 コピー OFF 連続配置 OFF X 30.000 mm Y -30.000 mm</p> <p>【マウス指定】 【数値入力】</p> <p>[回転] : 回転します。</p> <p>回転するデータを選択してから、基準点を指定します。</p>  <p>基準方向を指定 2 角度 0.000 度</p> <p>回転方向を指定 Ctrl コピー コピー OFF 3 角度 -30.000 度</p> <p>【マウス指定】 【数値入力】</p> <p>[反転] : 反転します。</p> <p>回転するデータを選択してから、基準点を指定します。</p>  <p>方向を指定 Ctrl コピー コピー OFF 2 角度 45.000 度</p> <p>【マウス指定】 【数値入力】</p>

[複写] : 複写します。

複写するデータを選択してから、複写元を指定します。

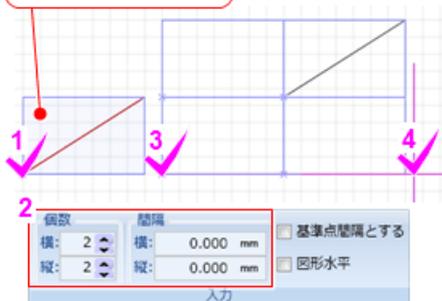


【マウス指定】

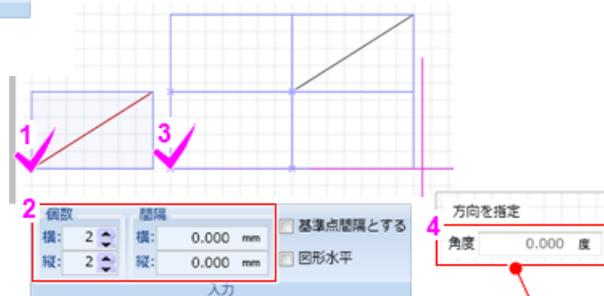
【数値入力】

[配列複写] : 配列を指定して複写します。

複写するデータを選択してから、基準点を指定します。



【マウス指定】

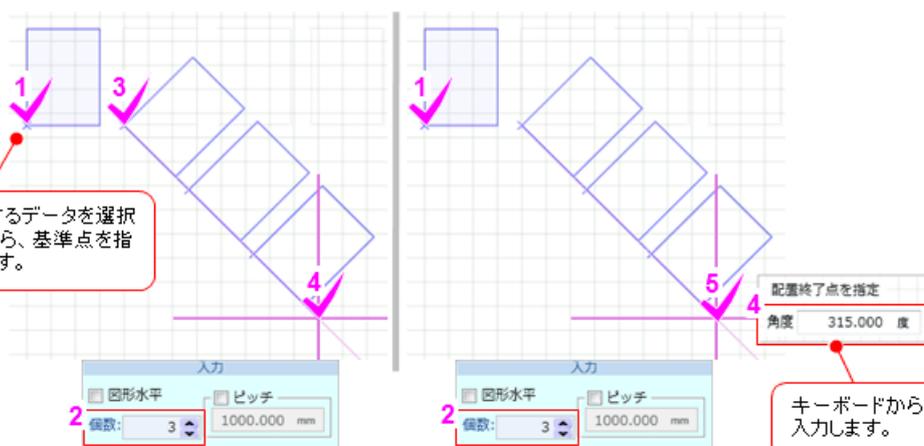


【数値入力】

キーボードから入力します。

[整列複写] : 整列を指定して複写します。

複写するデータを選択してから、基準点を指定します。



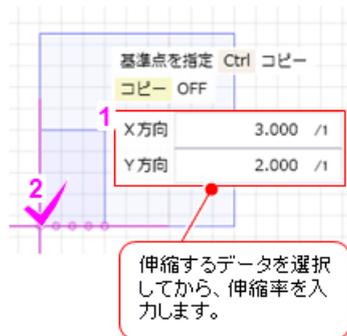
【マウス指定】

【数値入力】

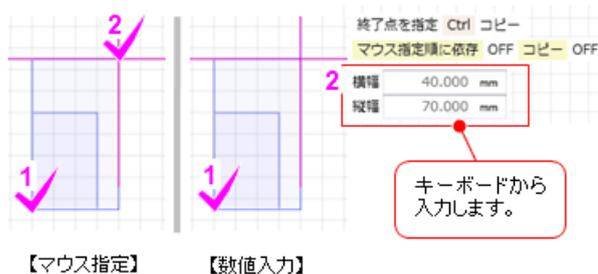
キーボードから入力します。

基本編集

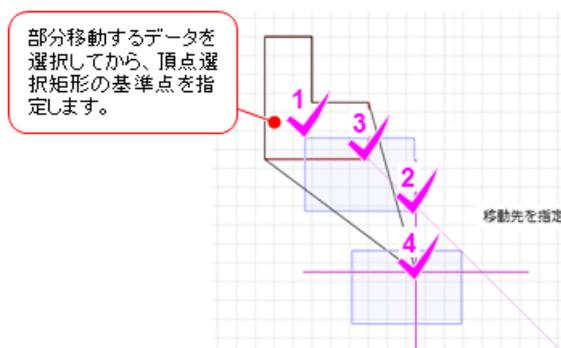
[倍率伸] : 倍率を指定して伸縮します。



[マウス指定伸縮] : マウスで指定した矩形に伸縮します。



[部分移動] : 部分移動します。



属性編集

[グループ化] : 選択された要素をグループにします。

[グループ解除] : グループを解除します。

[最前面へ] : 最前面へ移動します。

[最背面へ] : 最背面へ移動します。

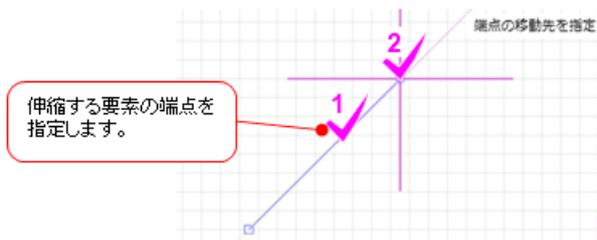
[前面へ] : 前面へ移動します。

[背面へ] : 背面へ移動します。

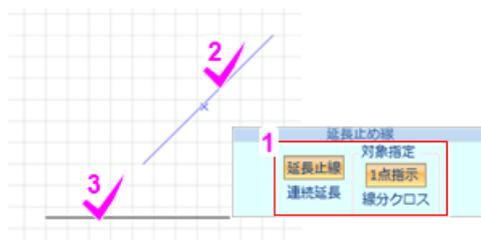
[分解] : 選択された要素を辺に分解します。

線編集

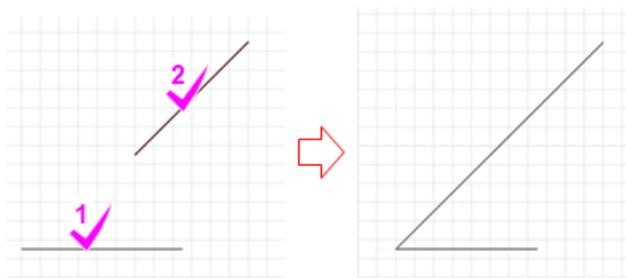
[線伸縮] : 線分を伸縮します。
対象となるのは線、円弧、楕円弧です。



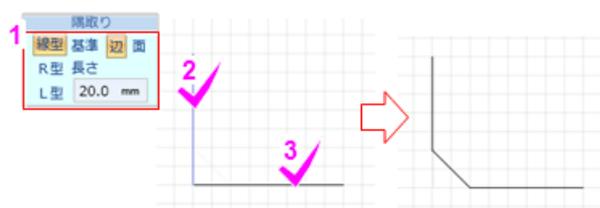
[延長止線] : 選択された線を、指定した線まで延長して止めます。



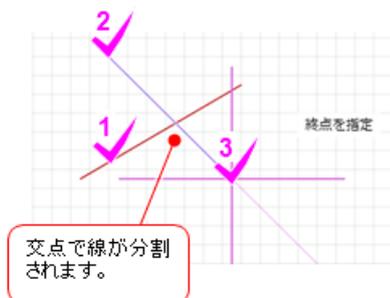
[整合] : 選択された線を整合します。



[面取り] : 面取りします。

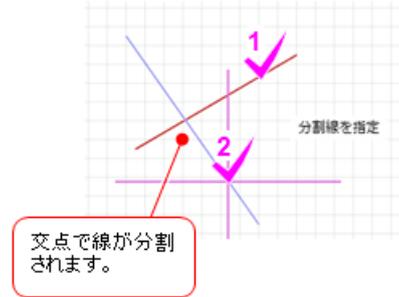


[要素指定カット] : 面取りします。

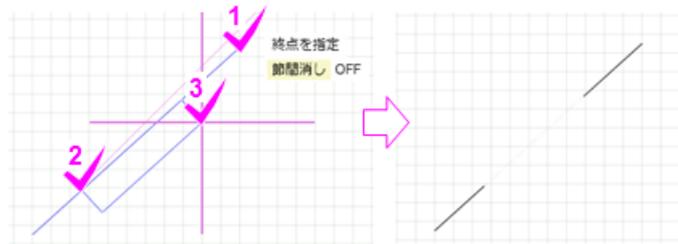


線編集

[要素指定カット (カット線指定)] : 線分を入力済みの線分で分割します。



[範囲指定カット] : 要素の一部をカットします。

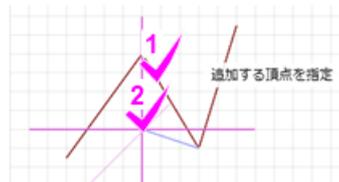


[包絡] : 包絡処理します。

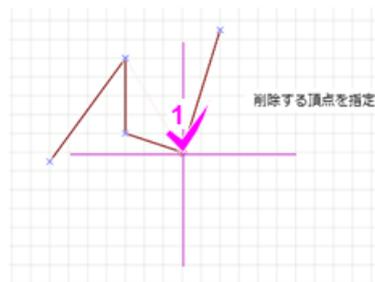


頂点

[点挿入] : 頂点を挿入します。



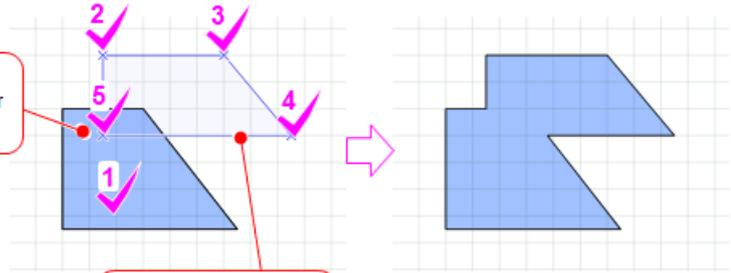
[点削除] : 頂点を削除します。



頂点

[領域プラス] : 領域を加算します。

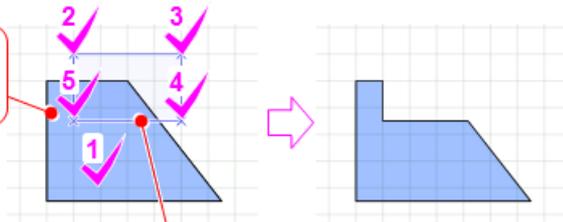
加算する領域の指定を終了したら Enter キーで確定します。



加算する領域は、1部分が元の領域を重複するように指定します。

[領域マイナス] : 領域を減算します。

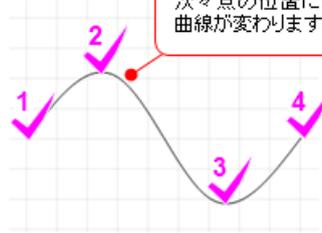
減算する領域の指定を終了したら Enter キーで確定します。

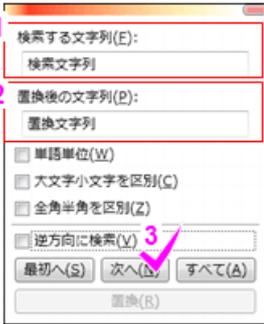


減算する領域は、1部分が元の領域を重複するように指定します。

[自由曲線] : 自由曲線を挿入します。

次々点の位置によって曲線が変わります。



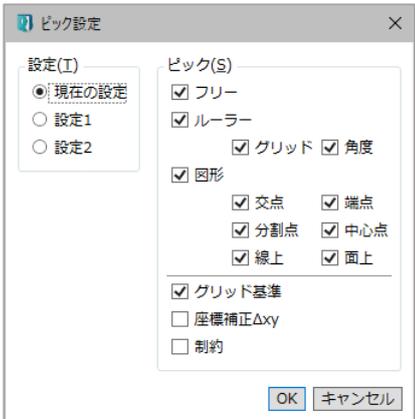
<p>文字</p>	<p>[文字の検索・置換] : 文字列を検索・置換します。</p>  <p>検索文字列</p> <p>置換文字列</p> <p>単語単位(W)</p> <p>大文字小文字を区別(C)</p> <p>全角半角を区別(Z)</p> <p>逆方向に検索(V) 3</p> <p>最初へ(S) 次へ(N) すべて(A)</p> <p>置換(R)</p> <p>検索文字列</p> <p>置換文字列</p> <p>単語単位(W)</p> <p>大文字小文字を区別(C)</p> <p>全角半角を区別(Z)</p> <p>逆方向に検索(V)</p> <p>最初へ(S) 次へ(N) すべて(A) 4</p> <p>置換(R)</p> <p>置換文字列</p> <p>置換文字列</p> <p>単語単位(W)</p> <p>大文字小文字を区別(C)</p> <p>全角半角を区別(Z)</p> <p>逆方向に検索(V)</p> <p>最初へ(S) 次へ(N) すべて(A)</p> <p>置換(R)</p>
-----------	---

<p>【設定】タブ</p>	
<p>グリッド</p>	<p>[グリッド] : グリッドを設定します。</p>
<p>ドラフタ</p>	<p>[ドラフタ] : ドラフタを設定します。 Space キーでドラフタを有効にするときの設定です。</p>
<p>表示色、描画順、線幅表示、線種表示、塗潰し表示</p>	<p>表示色、描画順、線幅表示、線種表示、塗潰し表示を設定します。</p>
<p>レイヤ設定</p>	<p>レイヤを設定します。</p>
<p>レベル設定</p>	<p>レベルを設定します。</p>
<p>線幅設定</p>	<p>線幅を設定します。</p>
<p>線種設定</p>	<p>線種を設定します。</p>
<p>カラー設定</p>	<p>カラーを設定します。</p>

用紙	用紙のサイズを設定します。
寸法線の表記法	寸法線の表記法を設定します。
システムカラー	背景、用紙枠、選択要素、補助要素、強調要素、ホームエリア、カーソルの色を設定します。

2 サイドリボン

サイドリボンは、選択されたコマンドによって表示される内容が異なります。
ここでは、以下について解説します。

用紙	<p>用紙を選択します。 詳細は [用紙] の右上のアイコンをクリックして表示される [用紙設定] で設定します。</p> 
ピック	<p>ピックを設定します。 詳細は [ピック] の右上のアイコンをクリックして表示される [ピック設定] で設定します。</p> 

レイヤ

レイヤ、レベルを設定します。

詳細は [レイヤ] の右上のアイコンをクリックして表示される [レイヤ設定] [レベル設定] で設定します。

レイヤ設定

レイヤ(L):

- 1: レイヤ(画像)
- 2: レイヤ001
- 3: レイヤ002
- 4: レイヤ003
- 5: レイヤ004
- 6: レイヤ005
- 7: レイヤ006
- 8: レイヤ007
- 9: レイヤ008
- 10: レイヤ009
- 11: レイヤ010
- 12: レイヤ011
- 13: レイヤ012
- 14: レイヤ013
- 15: レイヤ014
- 16: レイヤ015

番号(M): 1 適用(P)

名前(N): レイヤ(画像)

用途(B): 通常 補助 校正

スタイル(S): 表示 ピック 検索

カラー(C): 黒

規定の線幅(I): 1: 0.13

規定の線種(Y): 1: —

規定のカラー(O): 1: 黒

追加(A) 削除(D) OK キャンセル

レベル設定

レベル(E):

- 用紙

番号(M): 適用(P)

名前(N): 用紙

スタイル(S): 表示

原点(O): 0.000 mm 0.000 mm

角度(S): 0.000 度

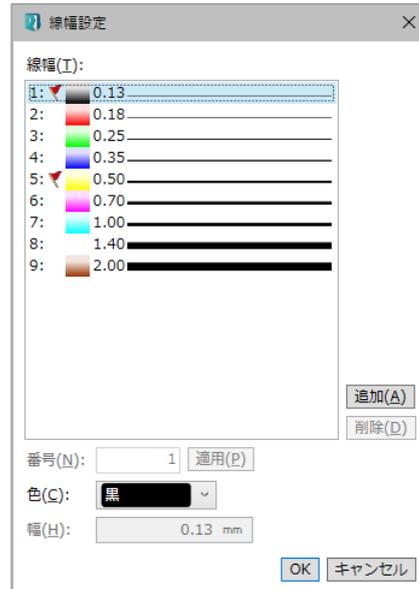
縮尺(I): 1/ 1.0000 1/ 1.0000

追加(A) 削除(D) OK キャンセル

ペン

線幅、線種、カラーに関する設定をおこないます。

詳細は [ペン] の右上のアイコンをクリックして表示される [線幅設定] [線種設定] [カラー設定] で設定します。



選択

データの選択方法を設定します。